

生活科学習指導案

廿日市市立平良小学校 小川 涼子

1 対象 第1学年

2 単元名 「もうすぐ2ねんせい」

3 単元について

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活の内容（9）「自分の成長」、（8）「生活や出来事の交流」に基づいて構成している。ここでは、自分の成長を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどの自分の成長が実感として分かるようにするとともに、自分の成長を支えてくれた人々の存在に気づき、感謝の気持ちをもつことができるようにすること、「自分にもできるんだ。」「もっとやりたいな。」という自信や意欲をもって生活できるようにすることを目指している。

また、自分たちの小学校での生活を幼稚園や保育園の年長児に伝える活動を通して、相手意識が生まれ、「分かりやすく伝えよう。」「相手の気持ちを考えよう。」といった気持ちが高まり、かかわることの楽しさが実感として分かるとともに、そうした中で成立した園児との豊かなコミュニケーションにより、さらなる交流の動機付けとなることをねらいとしている。

○児童観

本学級の児童の多くは、自分の成長に関して、「〇〇くんが教えてくれたから逆上がりができたよ。」など、できるようになった事実を喜び、直接かかわった人に感謝の気持ちをもつことはできている。しかし、できるようになった事実だけにとらわれて、過去の自分自身や出来事を思い浮かべ、過去の自分と現在の自分とを比較し成長を実感するという段階までには考えが至っていない。

また、生活の中で「6年生のお姉ちゃんにあや跳びの跳び方を教えてもらったらできたよ。」など、他学年や友達との交流も楽しんでいる。2年生におもちゃランドへ招待された後には、「ぼくも2年生になったら、今の2年生みたいに新しい1年生に教えてあげたいな。」と、年下の友達と関わることへの期待感を高めていた。

○指導観

指導に当たっては、1年間を振り返る際、この1年間の様々な活動をしている児童の写真や、「入学して初めて書いた名前」「初めてかいた絵」などを準備し、それらを手掛かりにして過去の自分と現在の自分とを比較させ、その気づきを表現したり交流したりすることで、自分の生活や成長には様々な人とのかかわりがあったことに気付かせたい。

また「新しい1年生と一緒に遊ぼう」では、1年前に2年生がしてくれたことを思い出させ、今度は自分たちが新1年生に「小学校って楽しいな。」「早く小学校へ行きたいな。」と喜んでもらえるようなことがしたいという思いをもたせ、活動に入る。相手のことを考え、計画や準備をしてきたことが喜んでもらったことで、自分も喜びを感じ、改めて自分の成長に気付くことができるようにしたい。そして、春に入学してくる新1年生に、学校生活のことを教えたり、教室をきれいにしたりしてあげたいという気持ちをもたせ、入学式の準備をする。児童は、準備をしていく活動の中で、2年生になることへの喜びや期待をもち、2年生になったらやってみたいことやできるようになりたいことを考え、意欲をもって進級することへの喜びを感じることができるようになることを考える。

4 単元目標

自分の1年間の生活やできるようになったことを振り返り、来年度入学してくる園児に学校のことを伝えたり、友達と伝え合ったりする活動を通して、今の自分との違いを実感し、自分自身の成長に気付くとともに、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進級への期待と意欲をもつことができるようにする。

5 単元の評価規準

単元の評価基準	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
	1年生を迎えることに関心をもち、1年間のことを振り返り、園児や友達に伝えるときに、2年生への期待感をもって生活しようとしている。	入学してからの自分自身の成長について振り返ったり、園児と自分とを比べたりして、伝えたいことやこれからの成長について考え、それを素直に表現している。	身近な人々と伝え合う楽しさや様々な人とかかわりにより自分でできるようになったこと、役割が増えたことが分かり、自分や友達の成長に気付いている。

6 指導と評価の計画（全16時間） [本時 6 / 16時]

次	時	学習活動	評価規準・【評価方法】
新しい1年生を招待しよう	3	・小学校のことを教えるために、入学してから1年間にしてきたことを振り返り、伝えたいことを写真や文にまとめる。(2) ・入学した頃のことを想起し、来年度入学してくる園児に、どんなことを教えたり何を一緒にしたりしたらよいかを話し合う。(1)	・1年間の振り返り、入学した頃の気持ちを思い出しながら、伝えたいことや一緒にしたいことを考え、写真や文にまとめている。 (思・表①)【作品】
新しい1年生と一緒に遊ぶ	6	・グループで、学校のことを教えるための準備をしたり、練習をしたりする。(1) ・グループに分かれて練習を見せ合い、アドバイスをする。(2) [本時(2 / 2)] ・アドバイスをもとに、仕上げの練習や準備をする。(1) ・園児に小学校のことを教えたり、自分が小学校で覚えた昔からの遊びなどで一緒に遊んだりする。(1) ・園児や友達から感想を聞いたり、自分の思いを伝えたりする。(1)	・1年生を迎えることに関心をもち、工夫して1年生を迎える準備をしている。 (関①)【行動観察・学習カード】 ・園児が相手であることを考えて、教え方や伝え方を工夫している。 (思・表②)【行動観察・発言】 ・園児との交流を通して、かかわる楽しさやできること、役割が増えていることが分かり、自分の成長に気付いている。(気①)【学習カード】 ・園児と自分とを比べて、自分が入学してからの成長について振り返り、それを素直に表現している。(思・表③)【学習カード・発言】

思い出がいっぱいできたよ	4	・楽しかった思い出や、できるようになったことを、文や絵などにまとめる。(3) ・お互いの作品を見せ合ったり、発表を見たりする。(1)	・1年間の楽しかった思い出やできるようになったことを、文や絵などにまとめている。 (思・表④)【作品】 ・自分の思いを友達に伝えようとしている。 (関②)【発表】 ・自分自身や友達の成長には、様々な人とのかわりがあったことに気付いている。 (気②)【発言】
もうすぐ2年生	3	・2年生になったら挑戦してみたいこと、取り組んでみたいことなどをまとめる。(1) ・友達と作品を見せ合いながら、2年生になったらしてみたいことを話し合う。(2)	・2年生への期待感をもち、挑戦してみたいことを話し合おうとしている。(関③)【行動観察】 ・自分の成長に希望をもち、2年生での生活について考え、友達と話し合っている。 (思・表⑤)【発言・作品】

7 本時の目標

- ・園児が相手であることを考えて、さらに分かりやすく楽しいものになるように教え方や伝え方を工夫する。

8 学習の展開

学習活動と予想される児童の反応（○）	教師の支援（□）と評価（☆）
1 前時の学習内容を想起する。 ・体験入学について再確認する。	□園児の具体的な姿をイメージさせ、 相手意識をもって取り組めるようにする。
2 学習のめあてを確認する。	
えんじさんのことをかんがえて、「もっとよろこんでくれる」「もっとわかりやすい」 せつめいになるようにくふうしよう。	
3 グループに分かれて、良いところを見付けたり、さらに良いものにするためにアドバイスをしたりする。 ・1年生役のグループ、園児役のグループ、それを見るグループに役割分担をする。 （見分けがつくように、園児役は帽子をかぶる。） ○ここでは、1年生で習う漢字を教えます。えんぴつは、こうやって持ってね。 ○やってみせてくれたのがわかりやすかったよ。 ○ここでは、かぞえぼうを使って図を作ります。お手本と同じものを作ってね。 ○新しい1年生には難しいんじゃないかな。もっと簡単にしたらいいよ。	□園児が[よろこんでくれる]か、園児にも[わかりやすい]かに視点を当てて観察するようにする。

4 アドバイスを全体で紹介し、そのアドバイスが有効かどうか話し合う。 ・すぐにできそうであれば、やってみる。 ○かぞえぼうの問題を、もっと簡単にしたほうがいいというアドバイスをもらいました。 ○10本は多いから、5本くらいでやってみたらいいと思う。 ○やってみよう。 5 アドバイスの中から、自分たちのグループにも生かせそうな意見を取り入れ練習する。 6 次の学習内容を確認する。	□各グループに気付かせたいことを想定しておき、児童から出た気付きを深めるような言葉かけをする。 ☆新しい1年生が相手であることを考えて、教え方や伝え方を工夫している。(思・表)【行動観察・発言】
--	---

9 準備物

- ・各グループの準備物 (ランドセル、漢字のプリント、数え棒、色板など)

10 板書計画

2/14 もうすぐ2年生

めあて

えんじさんのことをかんがえて、「もっとよろこんでくれる」「もっとわかりやすい」せつめいになるようにくふうしよう。

2/19 ようこそそのかい

えんじさん



字がよめない
学校のことがわからない
学校がたのしみ

もっとよろこんでくれる
もっとわかりやすい

- ・だれがなんのしごとをするかきめておく。
- ・つぎにすることをおしえてあげる。
- ・さきにもんだいをかんがえておく。
- ・えんじさんがこまっていたら、手つだってあげる。

グループ

11 教室環境

